



熊本ビジョンセンター（2025年2月）

- 本社所在地：神奈川県横浜市泉区
- 事業概要：樹脂、金属の精密部品切削加工・鏡面加工。専用装置の設計・製作。検査測定・洗浄業務。
- 常時使用する従業員：96名
（2025年3月時点）
- 現在の売上高：23億円
（2024年3月期）
- 法人番号：3020001000853
- Web：www.nsd-japan.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
一住連 努

誠意と技術を大切にします

日本精密電子(株)は要求される市場ニーズに、最先端の加工技術を確立することで、お客様に優れた品質、コスト、納期を迅速にお届けすることを使命として、『お客さまのモノづくり』と緊密につながり、更にインダストリー4.0を推進することで、内部環境を整備し、競争力の強化を計っていきます。弊社の『加工技術』が豊かな社会づくりに貢献していることを信じて、これからも『モノづくり』の可能性に従業員一同チャレンジして参ります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年の売上達成に向け、主力製品である半導体製造装置向け部品や医療機器向け部品の堅実な成長とともに、2025年3月期から2033年3月期までのCAGR20%程度の成長を目指します。

課題

- ・DX化や自動化による生産性向上
- ・特定の取引先への依存
- ・サプライチェーンの強靱化
- ・業務の属人化解消
- ・人材の確保・育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・FMS(フレキシブル生産システム)の増強による生産性向上
- ・FA(ファクトリーオートメーション)による省人化
- ・新規取引先の拡大および既存取引先からの受注拡大
- ・システム化やマニュアル化等による技術的知見の共有
- ・オペレーターの技能研修参加の奨励
- ・多能工化による人員配置の柔軟性向上
- ・サプライヤーと情報共有し、連携強化

実施体制

- ・熊本県に新工場の増設
- ・祖機器体制の再構築および管理体制の整備
- ・OJTの強化
- ・複数のサプライヤー確保のため営業中
- ・大手半導体製造装置企業への営業力強化
- ・管理部門人材の増員
- ・内部管理体制の強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

- 当社の主力販売先が属する半導体製造装置市場は、2025年は1,444億7,000万米ドル、2030年は2,080億8,000万米ドルに達すると予想されています（株式会社グローバルインフォメーション「半導体製造装置市場：装置タイプ別、パッケージング次元別、用途産業別、エンドユーザー別、流通別、用途別-2025～2030年の世界予測」より）。
- 当社は、切削加工を生業としていますが、上記のとおり、今後においても高い成長が期待できる業界向けに当社製品を販売していることから、当社自身も同程度以上に成長していく可能性を秘めおります。今次の「100億宣言」においては、上記の成長率よりも、高い成長を計画しておりますが、その主な理由として、①単発注文ではなく、リピートにつながる消耗部品を中心に受注を拡大していること、②積極的な設備投資を実施したことにより、（拡大余地はまだまだございますが、）一定水準の大量生産が可能な体制を構築できていること、③大手半導体製造装置メーカーを中心とした新規顧客の獲得および既存顧客の受注数量が拡大していることの3点が挙げられます。
- 現時点においては、顧客からの引き合いが多い一方、すべての顧客ニーズに応えられているわけではございませんが、それらニーズに応えられる体制を構築し続けられれば、当社の更なる成長が見込め、依然として成長余地が残っているものと考えております。今後においては、前スライドでも記載のとおり、工場の自動化、設備投資、人材の獲得等を引き続き積極的に実施していくことで、供給体制を構築していく予定でございます。
- その他の事項として、企業規模拡大に伴い、さまざまなリスクが発生すると考えられます。そのため、管理部門を強化することにより、適切な内部管理体制やガバナンス体制等を構築し、ステークホルダーの皆様の期待にも応えられるような体制を整備していくことも検討しております。

